

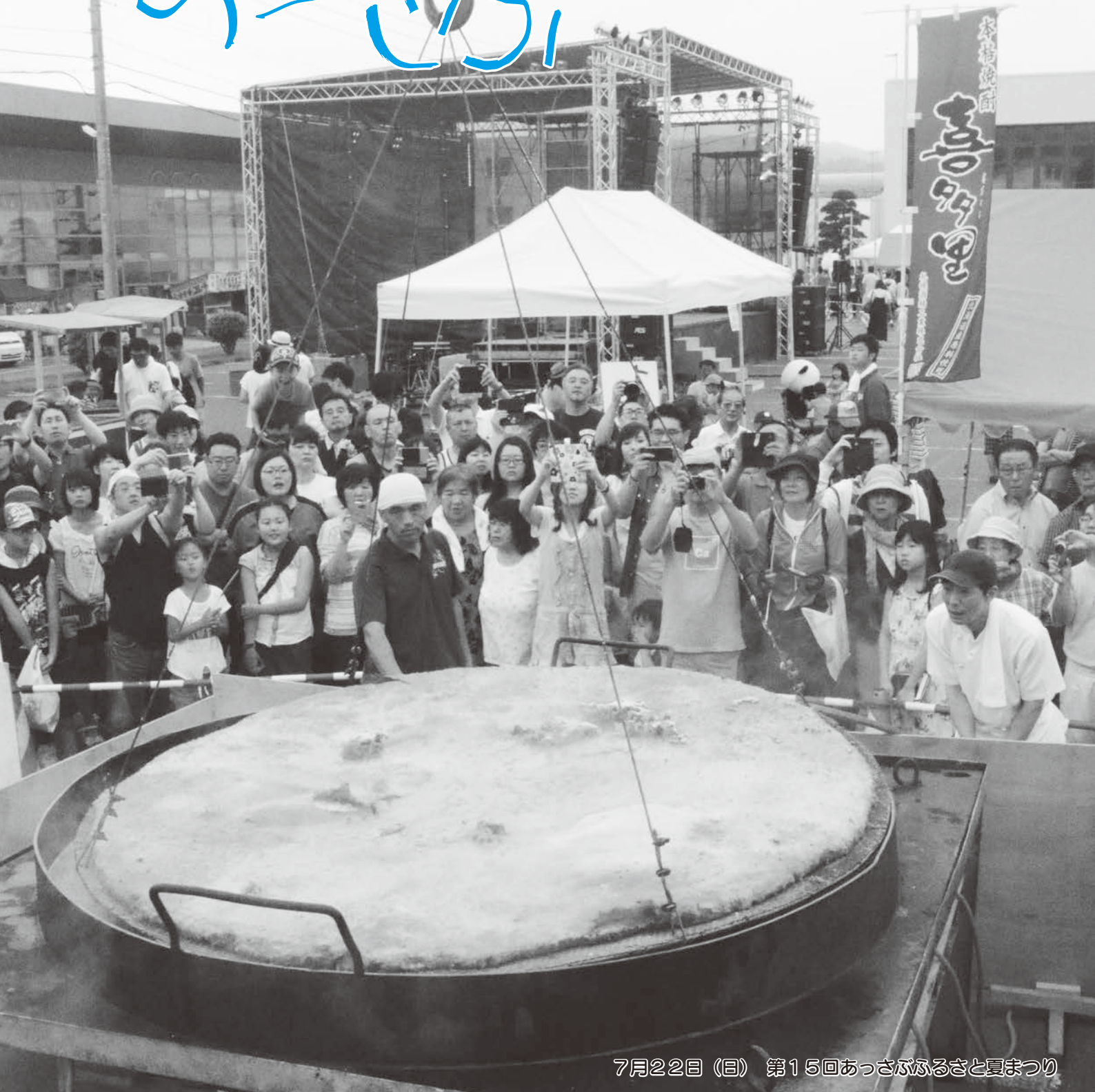
議会だより

平成30年 8 月

No. 100

あさぶ

題字は、鶺鴒保育所 らいおん組の加向皇信さんです。
カムキコウシン



7月22日（日） 第15回あさぶふるさと夏まつり



STOP!! ジャガイモシストセンチウ

～日本一のブランド「あさぶメークイン」を守ろう!～



認定こども園

新築工事請負契約を締結

平成30年第2回定例会が6月14日招集され、補正予算等17件を審議し、いずれも原案どおり可決されました。

補正予算

一般会計

歳入歳出それぞれ4345万1千円を追加し、総額47億2645万1千円となりました。追加補正された主なものは次のとおりです。

●農地耕作条件改善事業委託料 (259万2千円)

●農地耕作条件改善事業費補助金 (340万8千円)

●農地耕作条件改善事業測量設計業務等委託料 (165万円)

●農地耕作条件改善事業農業基盤整備工事費

(1185万円)

●プレミアム商品券発行事業費補助金 (900万円)

●うずら温泉屋根板金・塗装工事費 (1259万4千円)

●通学バス用備品購入費 (101万5千円)

質疑応答 (要旨のみ)

問 教育関連事業に対する指定寄附金の充当先について教えてください。

答 「創造の翼」中学生国内派遣研修事業に充当されます。

問 通学バス備品購入費の内容について教えてください。

答 小中学校の通学バス6台分のドライブレコーダー購入費です。

条例

●厚沢部町国民健康保険事業財政調整基金条例の一部を改正する条例の制定

●厚沢部町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定

●厚沢部町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定

●厚沢部町乳幼児及び児童生徒医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定

一般会計補正予算の内訳（歳出のみ）

区 分	補 正 額	補正後の額
総 務 費	3 8 9 千円	8 5 3, 2 1 5 千円
民 生 費	1 4 1 千円	1, 6 0 2, 1 0 4 千円
衛 生 費	2 1 8 千円	4 4 3, 4 9 3 千円
農 林 水 産 業 費	2 0, 0 9 4 千円	4 6 4, 0 2 0 千円
商 工 費	2 1, 5 9 4 千円	1 0 5, 4 8 9 千円
教 育 費	1, 0 1 5 千円	3 2 7, 3 2 3 千円
合 計	4 3, 4 5 1 千円	4, 7 2 6, 4 5 1 千円 (補正後の予算総額)

契 約

●厚沢部町認定こども園新築
建築主体工事請負契約の締結

●厚沢部町後期高齢者医療に
関する条例の一部を改正する
条例の制定

●厚沢部町営牧場の設置及び
管理に関する条例の一部を改
正する条例の制定

承 認

●厚沢部町税条例等の一部を
改正する条例の専決処分承認

●厚沢部町認定こども園新築
機械設備工事請負契約の締結

●厚沢部町認定こども園新築
電気設備工事請負契約の締結

議員派遣

●議員研修会（道議長会主
催）及び行政視察

目的 分権時代に対応した
議会の活性化及び議
員の資質向上を図る
とともに、今後の行
政推進の参考とする。

●厚沢部町国民健康保険税条
例の一部を改正する条例の専
決処分の承認

●町有地の処分についての専
決処分の承認

●全道議会広報研修会

目的 議会だよりの編集技
術向上と読者普及発
展に資するため、町
村議会広報の事例発
表と貢献を研修する。

場所 札幌市

期間 8月22日～23日

派遣議員 松村松雄
只野勲

表 彰

浜塚久好
下川部洋伸

北海道町村議会議長会 から自治功労表彰

北海道町村議会議長会から
鈴木祥司議長が町議会議長と
して7年以上及び町議会議員
として15年以上、また、山崎
孝議員、高田一弥議員が、町
議会議員として15年以上にわ
たり地方自治の振興・発展に
貢献した功績により表彰さ
れ、6月定例会の冒頭に伝達
されました。



鈴木議長



高田議員



山崎議員



一般質問

～聞いてみたい、こんなこと～

質問 1

**総合給食センターの危機管理
体制は**
中山俊勝議員

**教育委員会と関係機関の連携強化で
迅速な対応を**
鈴木教育長



中山議員

問

①異物混入問題が発生しましたが、以後の危機管理体制はどのようなになっていますか。

②異物混入問題はこれまで何件ありましたか。

③教員や児童・生徒、利用者に給食の内容等についてアンケート調査を実施する予定はありますか。

④地元食材の使用割合はどの程度ですか。

答

①異物混入対応マニュアルを作成し、児童・生徒が安全、安心のもと給食がとれるよう教育委員会や小中学校が情報共有と連携を図ります。調理から配食までの異物混入の防

止と発生した場合の迅速な対応に努めます。

②原因は特定されていませんが、毛髪が混入した案件が3件ありました。対策として調理員の白衣付着物の除去の徹底、学校側でも配膳前に複数人での衣服の付着物の確認等で異物混入のリスク軽減に取り組めます。

③アンケート調査については、保育所職員、教職員を対象に実施しています。今後、児童生徒についても実施する予定で、結果はセンター運営会社と情報を共有し、献立作成等の参考としていきます。

④学校給食が開始された平成29年8月下旬から年度末までの地元産食材の使用状況は、米Ⅱ100%、じゃがいもⅡ90%、大根Ⅱ20%、キャベツⅡ94%、2%、キノコ類Ⅱ34%、8%。肉類及びその他の食材は、使用量ベースで地元

まちの議会を傍聴してみませんか

町政はあなたのために

次の定例会は9月5日（水）からです。

手続きは、議会事務局備え付けの傍聴者名簿に住所・氏名を記入だけです。

購入が46.2%となっており、今後はより一層の地元食材活用を図るため、栄養教諭及び運営会社と検討を重ねます。

意見書を提出しました

第2回定例会で意見書2件を原案どおり可決し、関係省庁に提出しました。（内容省略）

●2019年度地方財政の充実・強化を求める意見書

提出先 内閣総理大臣、内閣官房長官、総務大臣、財務大臣、内閣府特命担当大臣（経済財政政策担当・地方創生規制改革担当）

●教職員の超勤・多忙化解消・「30人以下学級」の実現、義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、「子どもの貧困」解消など教育予算確保拡充と就学保障に向けた意見書

提出先 内閣総理大臣、衆議院議長、参議院議長、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣、内閣府特命大臣（地方創生担当）

新生厚沢部中学校の現状について

高田 一弥議員

質問 1

教職員が一丸となって生徒を支援し、雰囲気も落ち着いている

鈴木 教育長



高田議員

問

新生厚沢部中学校が開校して2か月が経ちましたが、生徒たちの学習や生活、その他の活動の様子、教職員の状況について教えてください。

答

校訓を「拓心」と定め、三校の良さを繋げ、仲間と共に新たな伝統を創るべく、生徒・教職員、ともに一丸となって取り組んでいます。当初懸念された新たな人間関係上の問題も無く、きめ細やかな教師の指導のもと、生徒それぞれが一生懸命取り組んでおり、テーマを「革進」とした、第1回体育祭は、新たな歴史を

作る気概に溢れた、実に素晴らしいものとなりました。日々の授業においても同様で、大変前向きに取り組んでおり、全国学力学習状況調査の自校採点では、昨年の全国平均を大幅に上回る結果で、今後の更なる向上が期待されます。

また、生徒目標として、授業・仲間・ふるさとを大切に、3つの柱を掲げ、校外学習においても、地域の風土、人との繋がり、奉仕の精神を培うべく、「人」を育てる活動へも取り組む予定です。教職員も、常にきめ細かく生徒を見つめ、声かけや相談、支援を行っており、校内の雰囲気も大変落ち着いた状況です。

質問 2

厚沢部中学校舎の今後の維持管理の予定は

問

今年1月に総務文教常任委員会が厚中学校舎を視察したところ、雨漏りや亀裂などが散見され、早急に修繕すべきとの報告をしました。今後の維持管理の予定について伺います。

学校の要望を受け、順次対応

答

厚沢部中学校外壁の塗装工事を6月から8月末までの工期で発注し、それと共に、階段付近雨漏りの原因であった、排気口の修繕も併せて行う予定です。今後も、予算の中で優先順位を見極めながら、学校の要望に沿えるよう、順次対応していきますが、経年劣化による今後の修繕を考えると、近い将来に向けて厚沢部町の義務教育の在り方とともに、新たな発想による提案を考えています。

再質問

問

答弁の中に、新たな発想の提案とありますが、どのような考え方が伺いたいのですが。

答

各校舎の経年劣化が進んでいることとあわせて考慮すると、これからは小、中学校の9年間をととした教育が望ましい環境であると考えます。

2016年の法律改正により小学校から中学校までの義務

教育を一貫して行う学校教育制度「義務教育学校」が新設されました。この考え方が新たな発想による提案、あくまでも考え方の一つですが、小中一貫教育の中の取組みとしては、最も望ましい制度であると考えています。将来的に、毎年、校舎の改築を行うよりは、早い時期にそのような手段を講じることも大切なことかと思えます。しかし、地域のことや子供達の育成等、何を第一に考えるかは今後、様々な議論を重ねていかなければならないと、考えています。

質問 1

森林環境税を活用した林産業の成長産業化に向けた体制整備について

佐々木宏議員

関係機関と協力しながら林産業の振興に取り組む

渋田町長



佐々木議員

問

①林業・木材産業の成長産業化に向けた体制整備についてどのように考えていますか。
②木質バイオマスの積極的な利用促進の取り組みを教えてください。

③今後の森林整備の進め方について教えてください。

④町産材自給率向上への需要喚起にどのように取り組んでいますか。

⑤町内森林所有者で不在村者への所有面積の実態について把握していますか。

⑥林務の専門職員確保・育成についてどのように考えていますか。

答

①農業同様に、町の基幹産業として林業・林産業の振興に取り組んでいく必要があると考えています。今後も森林組合など関係機関と協力しながら意欲と能力のある林業経営体の育成を図っていきます。

②これまで道の駅等にペレットストーブなどを設置したほか、3箇所の温泉全てにチップボイラーを導入しています。今後も可能な限り、木質バイオマスの有効活用を図っていきます。

③町有林事業については今後も国の補助事業を活用しながら計画的に整備を進め、民有林については町単独事業の上乗せ補助により森林所有者への支援を継続するほか、今後

は森林環境譲与税を活用しながら、所有者の意向調査を進め、適正な森林管理育成、さらには森林資源の循環利用に向けた森林整備を推進していきます。

④平成23年度に厚沢部町地域材利用推進方針を策定し、町民プール等の公共施設への町産材の積極的活用に取り組んでいます。今後も公共施設には積極的に町産材を活用していきます。

⑤森林調査簿上では不在村者の所有森林面積は約2,600ヘクタールであり、全私有林面積の40%にあたります。より正確に把握するため平成30年度中に森林調査簿と地籍情報を結合・精査した林地台帳を整備する予定です。

⑥現状の職員体制では専門職員の配置は困難な状況です。しかし、林業の成長産業化には技術的知識と経験が不可欠ですので、森林管理署や北海道等の関係機関の協力を得ながら職員のスキル向上に努めていきます。

質問 1

ジャガイモシストセンチュウの発生状況と対策について 山崎孝議員

メイクイン発祥の地として侵入・拡大防止対策の徹底を図る 渋田町長



山崎議員

問

平成30年の馬鈴薯作付予定地の土壌検診において、新たにジャガイモシストセンチュウが確認されたという報告がありました。ジャガイモシストセンチュウ発生状況と今まで行った対策について町の考え方を教えてください。

答

今年4月に美和地区の圃場でジャガイモシストセンチュウの発生が確認されました。対策としては檜山南部地区ジャガイモシストセンチュウ対策協議会での発生圃場への対策基本方針に沿って、農機具などの洗浄や輪作体系の維

質問 2

あつさぶメイクインの商標登録について

問

厚沢部特産のメイクインの

将来的な安定販売の体制確立のためにも、商標登録が考えられますが、町の考え方について伺います。

農協が主体となつて登録への取り組みが進行中

答

地域ブランドを守る制度として地域団体商標制度があり、メイクイン発祥の地として、地域ブランド化を進めるための有効な手段の一つであると考えています。現在、農協厚沢部支店での商標登録に向けて、新デザインでの「あつさぶメイクイン」の段ボール箱を製作済みであり、今後は、各種イベントなどにより広く認知させ、実績を重ねながら、北海道経済産業局知的財産室と協議していきます。この地域団体登録商標が認可された後は、官民一体であつさぶメイクインの一層のブランド力強化に向けた取り組みを推進していきたいと考えています。

委員会活動

町議会に設置されている総務文教常任委員会、産業厚生常任委員会では、今年度の所管事務調査の内容を次のとおり決定し、7月から調査を開始しています。

○総務文教常任委員会

- ・町有林の管理状況について（5年前に造林した場所の現況について）
- ・レクの森散策路・遊歩道の管理状況について
- ・統合後の中学校の課題について（校舎修繕状況と現状の課題について）
- ・上里移住体験住宅の現況について
- ・素敵な過疎づくり株式会社の現況と今後の運営状況について
- ・国保病院の課題と今後の展望について
- ・ふるさと納税について



総務文教常任委員会第1回所管事務調査

・せたな町認定こども園の現地視察について

○産業厚生常任委員会

- ・GPS基地局設置状況について
- ・清水水道管理状況について
- ・農業活性化センター・農業振興公社の運営状況について

委員会活動状況

月日	委員会名	出席委員数	活動内容
4	13 議会広報編集特別委員会	3名	広報No.99号の編集について
	26 議会広報編集特別委員会	3名	
5	9 議会広報編集特別委員会	3名	
6	11 議会運営委員会	4名	第2回定例会について
	15 総務文教常任委員会	4名	所管事務調査について
	産業厚生常任委員会	4名	所管事務調査について
7	10 総務文教常任委員会	4名	第1回所管事務調査
	13 議会広報編集特別委員会	4名	広報No.100号の編集について
	18 産業厚生常任委員会	4名	第1回所管事務調査
	23 議会広報編集特別委員会	3名	広報No.100号の編集について

- ・認定こども園整備事業の進捗状況について
- ・農道砂利敷き状況について
- ・道の駅あつさぶの整備について
- ・地域おこし協力隊の新規就農対策について
- ・高齢者生活支援事業について
- ・限界集落の実態について



産業厚生常任委員会第1回所管事務調査

主な議会のうごき

(3月定例会後から6月定例会まで)

月日	主	要	事	項
3	9	議員協議会 (第1会議室)		議員出席
	12	民生委員推薦会 (町民交流センター)		議長出席
		総務文教常任委員会 (議員控室)		委員、事務局出席
	13	産業厚生常任委員会 (第1会議室)		委員、事務局出席
		地域おこし協力隊活動報告会 (山村開発センター)		議員出席
	16	厚沢部土地改良区懇親会		議長出席
	18	東京厚沢部会 (東京都)	山崎議員、高田議員、下川部議員出席	
	30	厚沢部町地域農業再生協議会通常総会 (第1会議室)		議長出席
4	13	厚沢部町交通安全運動推進委員会総会 (第1会議室)		議長出席
		議会広報編集特別委員会 (議員控室)		委員、事務局出席
	19	山火事予消防対策協議会 (第1会議室)		議長出席
	20	道南地区森林・林業・林産業活性化推進議員連盟連絡協議会役員会 (今金町民交流センター)		議長出席
	26	議会広報編集特別委員会 (議員控室)		委員、事務局出席
	27	全員協議会 (議員控室)		議員、事務局出席
5	9	議会広報編集特別委員会 (議員控室)		委員、事務局出席
	15	檜山管内定例議長会・役員会 (江差町役場)		議長、事務局長出席
	17	農業活性化センター運営委員会 (第1会議室)		議長出席
	30	原水爆禁止平和と大行進 (町長室)		議長出席
6	6	少年の主張檜山地区大会「第31回厚沢部町予選大会」(町民交流センター)		議員出席
		檜山地域振興協議会総会 (檜山振興局)		議長出席
	7	国道277号早期完成促進期成会総会 (檜山振興局)		議長出席
		高規格幹線道路「木古内・江差間」整備促進協議会総会 (檜山振興局)		議長出席
	11	議会運営委員会 (議員控室)	委員、正副議長、事務局出席	
	12	北海道町村議会議長会定期総会及び議長・事務局長研修会 (札幌市)		議長、事務局長出席
	14	第2回町議会定例会招集 (議場)		議員、事務局出席

議会のホームページをご覧ください！

議会の日程や会議録等の議会情報をお知らせしています。

厚沢部町のホームページから移動するか、「厚沢部町議会」で検索してください。

厚沢部町ホームページアドレス [Http://www.town.assabu.lg.jp](http://www.town.assabu.lg.jp) →「厚沢部町議会」へ！！

編集後記

今年6月18日発生の大阪府北部地震、さらに、7月の西日本や北海道の集中豪雨などの大災害が発生しました、被害に遭われた方々には心よりお見舞い申し上げます。

さて、町内の三大祭り、館城跡、鵜温泉、ふるさと夏まつりも盛大に開催され、大勢の人でにぎわい、実行委員の方々大変お疲れ様でした。また、祭りといえは秋祭りが8月末から9月の中頃まで町内各地区で始まります。宵宮祭、本祭りとは2日間続けて行い、農作物の収穫に感謝をし、さらに、地域住民との交流を深めながら、子供たちと一緒に山車を引き廻し、楽しむことだと思えます。皆さんも率先して参加し、お祭りをおおいに盛り上げて下さい。あまり飲みすぎて体をこわさないよう程々に…。

(ま)

議会広報編集特別委員会

委員長 松村 松雄

副委員長 只野 勲

委員 浜塚 久好

委員 下川部 洋伸